事業 継続 区分	事業名	直路維持	事業	道路舗装等維持	持補伯	修_	上事	
所管課	建設	誤	(建設部)			-	一般会計	·予算
				、特に生活と密着した道	区分	No.	[区分名
	路の維持補修	を美施、生活	埬項の 回上を	図る。	款	7	土木費	ŧ
事業の目的					項	2	道路標	喬梁費
					目	2	道路約	推持費
					細目	1	道路約	推持費
根拠条例等	道路法42	2条(道路の	維持または	修繕)				
総合計画	基本計画	第3章第2	2節 (2)生	活道路の整備 道路	の安全	性・	利便性の	向上
	平成24年度		安心して利用。	できる道路整備を行う。	財源	。 の	<mark>为訳 (</mark>	単位:千円)
	特に、年々を	き朽化している	道路構造物で	で道路表面の舗装補修	分担	金		
H24年度 事業の概要	(ZZPI X/// I	-32473 07 11012		節 千円	使用	料		
				工事請負費 35,500	国	費		
				計 35,500	· · ·	費		
	市民の安全を	なネットワーク	の確保。		市(債		
					その	他		
					一般則	才源		35,500
事業の成果					H24予:		Α	35,500
			H23 当初予 H23	算額	В	28,000		
					現計予算	算額		28,000
W		I = 0 - 4			増減		A-B	7,500
	コスト		F度(実績)	平成23年度(見込)		特	定財源の	D状況
	算見込額 (千円) 【 ↓ エ 】		11,820	25,000				
(本事職員数 (人)			0.60	0.70				
	エ×8,000千円) 件費含む (千円)		4,800 16,620	5,600 30,600				
活動指標名	IT 其 B V (下 IT)		整備:	,				
活動指標の	省		正 /用 :					
活動指標の		2,780	単 位 m	1,600 <mark>単</mark> m				
単位当たりコ		位 m 5,978	1,000 位 111 19,125					
. ,==4/2/		上	0,978 19,125 19				算案のポイ	ントン
事業の目標	唯切が女主3	くか く、エ ピゴ	-でに替りせる	いらみ ノンソリガルに。	備考	【重, 3. i [生	点事業】 市民安心安: 話基盤の整	全プロジェクト

事業 継続	事業 名 名	を通安全	施設整	備事業					
所管課	建設	誤	(建設部)			-	一般会計予算		
				、特に生活と密着した道	区分	No.	区分名		
		る道路防護柵	、カーブミラー	や道路区画線の維持補	款	7	土木費		
事業の目的	修を実施し、道	国路利用者の	安全催保を行	َى .	項	2	道路橋梁費		
					目	2	道路維持費		
					細目	3	交通安全施設整備費		
根拠条例等	道路法42	2条(道路の	維持または	修繕)					
総合計画	基本計画	第3章第2	2節 (2)生	活道路の整備 道路	·の安全	性・	利便性の向上		
	市道の安全 護柵(ガードレ			新設、修繕や道路防	財派	原のI	内訳 (単位:千円)		
	また、道路面			の区画線の塗り直しを	分担	金			
H24年度 事業の概要	行う。				使用	料			
サポの似女	需用費	800千円			国	費			
	<u>工事請負費</u> 計	5,200千円 6,000千円			県	費			
	市道利用者	の安全確保。			市	債			
					その	他			
					一般則	け源	6,000		
事業の成果					H24予	算額	A 6,000		
					H2: 当初予		В 6,000		
					H2 現計予		6,000		
					増減	額	А-В		
事業の	コスト	平成22年	F度(実績)	平成23年度(見込)		特	定財源の状況		
決算額又は決	算見込額(千円)		6,000	6,000					
(【人工】		0.10	0.10					
人件費(人	エ×8,000千円)		800	800					
総事業費∶人	件費含む(千円)		6,800	6,800					
活動指標名			箇所	f数					
活動指標の	算式		_						
活動指標の	実績	54.0	単 位 箇所	52 <mark>単</mark> ^{箇所}					
単位当たり	コスト (円)		125,926	130,769					
事業の目標	市道利用者の	<u></u> 性の確保。		備考	【重, 3. i [暮	算案のポイント> 点事業】 市民安心安全プロジェクト らしの安全]) 防犯灯、交通安全施設の整			

事業 継続	事業名	会資本	整備総	合交付:	金事業	市	道站	平井比	布線		
所管課	建設	課	(建設部)				-	一般会計	予算		
				日野線を結び、		区分	No.	[区分名		
	市道として重要みがはげしいこ	とから、菟田	野平井地内(1000m)の区	間におい	款	7	土木費	ŧ.		
事業の目的	て、本事業によ	り計画的に舗	捕装補修などる	を行うものであ	る。	項	2	道路標	喬梁費		
						目	3	道路親	f設改良費		
						細目	11		本整備総合交付 (平井比布線)		
根拠条例等	「道路法42	2条」(道路	の維持又は	は修繕)							
総合計画	基本計画 第3章第2節(2)生活道路の整備 道路の安全性・利便性の向上										
	「社会資本學	整備総合交付		:省)।		財派	i 原の「	<mark>为訳 (</mark>	単位:千円)		
	全体計画年度(全体事業費	H23~25年	F度 [節	千円	分担	金				
H24年度 事業の概要	全体計画の概要 上(延長)=1,	要 道路舗	B 表1修一件 ►	需用費 使用料及び	534	使用	料				
于 水 •) / / / / /	W(幅員)=6. 平成24年度事	0m	<u> </u>	賃借料	366	国	費		18,000		
	平成24年度争 31,000千円	未其	_	工事請負費 計	31,000	県	費				
	京阪士中 大	: 白	ち エ ノー タオ ニ゙ ナ	π#μ /	市	債		13,000			
	泉を補修整備で			要動線である 向上させた。	半井氐布	その	他				
						一般則	け源				
事業の成果						H24予	算額	А	31,000		
						H2: 当初予		В	20,480		
						H2 現計予			20,480		
						増減	額	A-B	10,520		
事業の	コスト	平成22年	度(実績)	平成23年原	度(見込)		特	定財源の	の状況		
決算額又は決算	見込額(千円)			:	21,000	社会資	【本整	備総合交付	付金 18,000千円		
従事職員数[人工】				0.60	過疎債	Ē		13,000千円		
人件費(人工	×8,000千円)				4,800						
総事業費∶人件	費含む(千円)				25,800						
活動指標名			進扬	李							
活動指標の算	拿式		執行額/全	体事業費							
活動指標の調	実績 単位 36.2 単位 9										
単位当たりコス	スト(円)			-	12,707						
事業の目標	当課で管理する市道のうち、補修懸案路線の解消。					備考	【重, 3. i [生 (1)	活基盤の整	全プロジェクト		

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート

事業 継続	事業 名	上会資本	整備総	合交付金	金事業	市	道/	/倉室	生線
所管課	建設	:課	(建設部)				-	一般会計 ⁻	予算
事業の目的	線を経由し国 あり、四季を問	宝である室生 わず県内外が , 近年の通行	.寺を結ぶ主要 から多くの来記 車両の大型(1	r者の利用があ と等により舗装	ス道路で る。 面の状態	京 項 目 細目	No. 7 2 3 13	土木費 道路橋 道路新社会資本	
根拠条例等	「道路法4	<mark>2条」(道路</mark>	の維持又は	は修繕)		I			
総合計画	基本計画	第3章第2	2節(2)生活	道路の整備	道路の多	安全性·	利值	更性の向_	Ł
H24年度 事業の概要	「社会資本整 全体計画年度 H22~H26年度 全体計画の概: 工事延長 L=6 道路舗装工事 H24年度事業費	(全体事業費 要 ,300m 道路幅員	W=7.0m	千円 649 31 508 40,100 12 41,300	分担 使用	金	为訳 (单位:千円) 24,000	
事業の成果		宇陀市室生小原~三本松地内の主要路線である小倉室生線を補修整備することによって付近住民及び観光客の安全性を向上						A B	41,300 41,300 30,515 30,515 10,785
事業の	コスト	平成22年	F度(実績)	平成23年原	度(見込)		特	定財源の	状況 おおいま かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい
決算額又は決算	見込額(千円)		8,557	(69,507	社会資	本整	備総合交付	金 24,000千円
従事職員数【	人工】		0.60		0.70	過疎債	į		17,300千円
人件費(人工	×8,000千円)		4,800		5,600				
総事業費:人件	‡費含む(千円)		13,357	-	75,107				
活動指標名			進扬	歩率					
活動指標の領	章式	執行額/全体事業費							
活動指標の調	実績	34.8	3 位 %						
単位当たりコ	スト(円)		3,106,279	2,1	58,247				
事業の目標	当課で管理す	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	5、補修懸案路	各線の解消。		備考	【重点 3. i [生 (1)	算案のポイン 京事業】 市民安心安全 活基盤の整 効果的な道 実施	プロジェクト

事業 新規	事業 名	会資本	整備総	合交付金	金事業	市	道/	小原小	倉線	
所管課	建設	課	(建設部)				-	一般会計	予算	
				地域を通る県		区分	No.	[区分名	
	張線から、当路 倉インターチェ	ンジを結ぶ主	要生活道路	である。また、月	農林産物	款	7	土木費	ŧ	
事業の目的	の搬出路としてく視距も悪い状	態にあり、近				項	2	道路標	喬梁費	
, sie e E iii	が危険な状態で	である。				目	3	道路新	f設改良費	
						細目	14		本整備総合交付 (小原小倉線)	
根拠条例等	「道路法42	2条」(道路	の維持又は	は修繕)						
総合計画	基本計画	第3章第2	節(2)生活	道路の整備	道路の	安全性	• 利 (更性の向	上	
	「社会資本整備 全体計画年度		事業(国交省)	節 需用費	千円 655	財派	<mark>原の</mark> [内訳 (単位:千円)	
	全体計画の概 工事延長 L=1	要		委託料	5,100	分担	金			
H24年度 事業の概要	1.5車線的改	文良工事		使用料及び 賃借料	245	使用	料			
サ木の帆女	道路幅員 \ H24年度事業費		7	工事請負費 土地購入費	24,800 250	国	費		18,000	
				立木等補償計	150 31,200	県	費			
			の主要路線である小原小倉線を1.5車			市	債		13,200	
	線化整備することである。	ことによって作	とによって付近住民及び観光客の安全性を向上							
						一般則	け源			
事業の成果						H24予	算額	Α	31,200	
						H2 当初予		В		
						H2 現計予	3			
						増減		A-B	31,200	
事業の	コスト	平成22年	度(実績)	平成23年度	(見込)		特	定財源の	の状況	
決算額又は決算	見込額(千円)					社会資	資本整	備総合交	付金 18,000千円	
従事職員数【	人工】					過疎價	Ę		13,200千円	
人件費(人工	×8,000千円)									
総事業費∶人件	豊含む(千円)									
活動指標名										
活動指標の算	算式									
活動指標の第	E 績	単 位								
単位当たりコス	スト(円)									
事業の 目 標	当課で管理する市道のうち、補修懸案路線の解消。					備考	【重, 3. i [生	活基盤の整	全プロジェクト	

事業 新規 新規	事業 社	会資本	整備総	合交付金事業	市道	直山	辺三が	卡人橋線	
所管課	建設	課	(建設部)			-	一般会計	予算	
				畔に沿って東海自然歩	区分	No.	Z	分名	
	ダム湖ではヘラ	゙ヺナ・鯉等の	つり客、市の	レートであり、また、室生 運営する赤人霊苑を結	款	7	土木費		
事業の目的	が狭く・カーブカ	べ多い・視距か	が悪いと言う物	ム湖の特徴である幅員 犬態にあり、開設から約	項	2	道路橋	梁費	
	オーバーハンク	ごとなっている	所が多く見受	のり面肩先の風化により けられ、車両通行が危	目	3	道路新	設改良費	
	険な状態となっ 消し、安心安全	ている。そのに通行出来る	為大事故に素 る道路を整備	とがる崩落を未然に解したい。	知 15 社会資本整備総合3 事業(山辺三赤人橋				
根拠条例等	「道路法42	2条」(道路	の維持又は	は修繕)					
総合計画	基本計画	第3章第2	節(2)生活	道路の整備 道路の	安全性	• 利何	更性の向」	E	
	「社会資本整備	総合交付金	事業(国交省)		財派	<mark>原の</mark> [<mark>为訳 (</mark>	単位:千円)	
	H24年度事業費 全体計画の概要		9	節千円需用費295	分担	金			
H24年度 事業の概要	工事延長 L=2		n、A=460 m ²	使用料及び。00	使用	料			
于木切帆女				賃借料 25,000	国	費		15,000	
				計 25,375	県	費			
	宇陀市榛原山			市	債		10,100		
	偏 することによ 全性を向上させ		その選行及び	バイキング観光客の安	その	他			
					一般則	は源		275	
事業の成果					H24予	算額	А	25,375	
					H23 当初予		В		
					H2: 現計予				
					増減	額	A-B	25,375	
事業の	コスト	平成22年	度(実績)	平成23年度(見込)		特	定財源の	状況	
決算額又は決算	見込額(千円)				社会資	本整	備総合交付	金 15,000千円	
従事職員数【	人工】				公共事	業等	債 10,1	100千円	
人件費(人工	×8,000千円)								
総事業費:人件	‡費含む(千円)								
活動指標名									
活動指標の算	章式								
活動指標の調	実績		<mark>単</mark> 位	単 位					
単位当たりコス	スト (円)								
事業の目標	当課で管理す	、補修懸案跆	各線の解消。	備考	【重点 3. i [生 (1)	算案のポイン 点事業】 市民安心安全 活基盤の整(対果的な道) 実施	プロジェクト		

事業 継続	事業 名 社会資本整備総合交付金事業(長寿命化修繕計画策定業務)											
所管課	建設	課	(建設部)				-	一般会計	·予算			
		かつ予防的な	対応に転換し	までの事後保全 、橋梁の長寿命		区分款	No.	土木習	<mark>≍分名</mark> ■			
事業の目的	計画で東走りで	いためのたけ	€117 °			項	2	道路棉	香梁費			
争未の日的						目	3	道路親	新設改良費 新設改良費			
						細目	93		整備総合交付金事業 比修繕計画策定)			
根拠条例等	道路法42	条(道路の	維持又は修	多繕)								
総合計画	基本計画	第3章第2	.節 (1)幹	線道路の整備								
H24年度 事業の概要		:H23〜H25 i要路線の橋:	(全体事業費 梁101橋の橋	15,000千円 5梁点検及び計画 節	軍策定 千円	分担 使用	金	<mark>为訳 (</mark>	単位:千円)			
	橋梁長寿命化6 託料(奈良県社	修繕計画に伴	分保守点検引	需用費 委託料 計	5,000 5,083		費 費		3,000			
					市	債						
	⇔ + + • • •		上揺の揺ぶ上	^	その	他						
				検、修繕計画を		一般則	才源		2,083			
事業の成果				削減を図り、道路	6億采	H24予	算額	Α	5,083			
	の安全確保と=	スト船波を区	ା ବ			H2: 当初予	算額	В	5,000			
						H2: 現計予			5,000			
						増減	額	A-B	83			
事業の	コスト	平成22年	度(実績)	平成23年度	<mark>(見込)</mark>		特	定財源の	の状況			
決算額又は決算	見込額(千円)			4	1,000			整備総合3	を付金			
び事職員数【 	人工】				0.30	3, 0	00 T	円				
人件費(人工	C×8,000千円)			2	2,400							
総事業費:人件	‡費含む(千円)			6	5,400							
活動指標名			橋梁	2数								
活動指標の領	章式		_	-								
活動指標の調	沙実績											
単位当たりコ	スト(円)			18	8,235							
事業の目標						備考	【重点 3. ī [暮	らしの安全	全プロジェクト			

事業 新規 区分	* 新規 事業 名 都市計画マスタープラン作成業務委託												
所管課	都市計	画課(建	設部)			-	一般会計予	· 算					
	・都市計画マス	タープランは、都	市計画の	観点から長期的な視点	区分	No.	区	 分名					
	にたって、地域	の社会的・経済的	り情勢に対	対応しながら、宇陀市総 交通網の整備、田園環	款	7	土木費						
事業の目的	境との調和、新	f興住宅や農村集	落の良好	な住環境の保全など、 いための方針である。	項	4	都市計	画費					
并 來 以 口由					目	1	都市計	画総務費					
					細目	1	本庁都市	計画総務費					
根拠条例等													
総合計画	第3章 第	1節 良好な住	環境の	形成									
		タープラン 3, (000千円		財源	<mark>見の</mark> [内訳 (単	.位:千円)					
	計画書作成住民アンケー	ート調査及び分析			分担	金							
H24年度 事業の概要					使用	料							
争未の似安					国	費		3,000					
					県	費							
	・まちづくりを進		・ベノリの・	市	債								
	来目標及び将	来都市像を示し、「		主要課題を把握し、将 政、地域などが協働の	その	他							
	まちづくりを行う	7 信針とする。			一般則	才源							
事業の成果					H24予	算額	Α	3,000					
					H23 当初予		В						
					H23 現計予								
					増減	額	A-B	3,000					
事業の	コスト	平成22年度((実績)	平成23年度(見込)		特	定財源の	状況					
決算額又は決算	見込額(千円)				•合併ī	市町村	村補助金 3,0	000千円					
従事職員数【	人工】												
人件費(人工	×8,000千円)												
総事業費:人件	‡費含む(千円)												
活動指標名													
活動指標の算	章式												
活動指標の第	<u> </u>	单 位	単位										
単位当たりコン	スト(円)												
事業の目標	・上位計画の彩 及び将来都市(ふまえつ	つ、まちづくりのテーマ	備考	【重点 3. i	算案のポイン 点事業】 市民安心安全 活基盤の整備	プロジェクト					

事業区分	^{事業} 室生口大野駅前整備検討委員会費											
所管課	都市計	画課	(建設部)			-	一般会計 ⁻	予算				
	観光地にふる	さわしい活力を	ある駅環境の	確保のため、室生口大	区分	No.	Z	分名				
				也区をはじめ室生地域全駅前広場整備及び周辺	款	7	土木費					
事業の目的	地域の土地利力	用計画等につ	いて、検討す	長員会を設置のうえ検討	項	4	都市計	画費				
Justices Hills					目	1	都市計	画総務費				
					細目	1	本庁都	市計画総務費				
根拠条例等	室生口大野	^{野駅前整備}	検討委員会	会設置要綱(告示予)								
総合計画	基本計画	第3章第1	節 良好な	住環境の形成、定住	環境の	整值	莆					
	■駅前整備検討			で十級日日 〈こさなせ〉! ここへへ	財源	<mark>原の</mark> [内訳 (肖	単位:千円)				
	名		。衣、父进舆协	系機関、行政など 計20	分担	金						
H24年度 事業の概要	経費内訳 報		月(行政外15名		使用	料						
サ木の佩女	その他ワ	ークショップに	-よる恵兄集和	的(任氏参加)	国	費						
					県	費						
			を図ることによ	たって、より親しみのある	市。	債						
		対して自らが正		ことにより、能動的な地	その	他						
	る。			の活性化に関心が高ま	一般則	オ源		206				
事業の成果	行政、地域おに向け希望や	互いか知思る 夢がもてる地域	r田し合い、こ 或づくりを目指	のことをきっかけに将来 fすきっかけとなる。	H24予	算額	Α	206				
					H23 当初予		В					
					H20 現計予							
					増減	額	A-B	206				
事業の	コスト	平成22年	度(実績)	平成23年度(見込)		特	<mark>定財源の</mark>	<mark>状況</mark>				
決算額又は決算												
<mark>従事職員数【</mark>	人工】											
人件費(人工	× 8,000千円)											
総事業費:人件	‡費含む(千円)											
活動指標名												
活動指標の算	产 式											
活動指標の調	実績		<mark>単</mark> 位	単 位								
単位当たりコン	スト(円)											
事業の目標							算案のポイン 点事業】 市民安心安全 E活基盤の整(プロジェクト				

事業 新規	事業 名 空	き家再	生等推	進事業					
所管課	都市計	画課	(建設部)			-	一般会計 ⁻	予算	
	国土交通省の	つ「空き家再生	=等推進事業	補助金」を活用し、榛原	区分	No.	⊵	☑分名	
	比布地内の旧作 団体「伊那佐郵)を修復するための民間 補助を行う。	款	7	土木費		
事業の目的	光拠点としてIE	伊那佐郵便	局を活用し、	おり、地元物産販売、観 地元住民の雇用の場の	項	4	都市計	·画費	
7 1100 1111		産販売にあた	つては、特産	物を活用した料理の調	目	1	都市計	·画総務費	
	査研究を食生活	古推進協議会	の協力を得て	こ行つ。	細目	1	本庁都	市計画総務費	
根拠条例等	都市計画審議	会条例·宇陀	市都市計画等	この案の作成手続きに関す	する条例・奈良県屋外広告物条例・施行規				
総合計画	基本計画	第3章第1	節 良好な	住環境の形成、定住	環境の	整值	開		
	補助金を活用			夏を行う。 地域住民をはじめ広く参	財源	<mark>源の</mark> [内訳 (草	単位:千円)	
	加者を募集して	行う。		型域住民をはしめ近く参り 児中の母親や、介護等	分担	金			
H24年度 事業の概要	で長時間働くこ	とができない		元中の母親や、介護寺 国用し、社会や地域とつ	使用	料			
于不可以女	ながる場を提供	₹ ሃ ⊗₀			国	費		5,000	
					県	費			
				で多様な世代が関わるこ 活性化及び地元雇用の	市	債			
	場を提供する。				その	他			
	等に利用できる		戦元ルート0)中間拠点として休憩所	一般則	才源		5,000	
事業の成果					H24予		А	10,000	
					H23 当初予		В		
					H23 現計予				
					増減	額	А-В	10,000	
事業の	コスト	平成22年	度(実績)	平成23年度(見込)		特	i <mark>定財源の</mark>)状況	
決算額又は決算	見込額(千円)				社会	資本	整備総合交 5,00	付金 0千円	
従事職員数【	人工】						-,30		
人件費(人工	×8,000千円)								
総事業費:人件	‡費含む(千円)								
活動指標名									
活動指標の第	章式								
活動指標の調	票の実績位は単位								
単位当たりコ	スト(円)								
事業の 目 標	・地元雇用の場 ・芳野川サイク 憩場所及び観り	リングロード	の菟田野方	面への中間点として、休	備考	【重, 4. j [観	見光振興 宇陀 対資産の活用	た振興プロジェクト ○市の歴史的文化	

事業 区分 新規 事業 市道萩原12号線道路詳細設計業務委託											
所管課	都市計	画課(建	設部)			-	一般会計 ⁻	予算			
	・道路整備によ	り、消防車等の緊	急車両な	が通行可能になり、地域	区分	No.	⊵	分名			
	住民が、安心・	安全な暮らしを確保	呆する。	協働し、にぎわいのある	款	7	土木費				
事業の目的	中心市街地を図	図る。			項	4	都市計	画費			
4.2K 0.2 H 1.3					目	1	都市計	画総務費			
					細 1 本庁都市計画総						
根拠条例等											
総合計画	第3章 第	1節 定住環境	の整備	·							
	*道路詳細設計				財源	<mark>原の</mark> [内訳 (草	単位:千円)			
	委託料 3, L=140n	000十円 n W=6.0m			分担	金					
H24年度 事業の概要					使用	料					
サ木の佩女					国	費		1,500			
					県	費					
		市街地に於いて、		等の緊急車両が通行可 * 787日まる	市	債		1,400			
	•南都銀行、大	、和信用銀行、新田	町郵便局	へのアクセス道路とし	その	他					
	て、商来り一口	え環境の充実とに	一般則	オ源		100					
事業の成果						算額	Α	3,000			
					H23 当初予	算額	В				
					H23 現計予						
					増減	額	A-B	3,000			
事業の	コスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)		特	定財源の	状況 ポープ			
決算額又は決算	見込額(千円)							,500千円			
従事職員数【	人工】				合併	特例	債 1,400=	千円			
人件費(人工	×8,000千円)										
総事業費∶人件	‡費含む(千円)										
活動指標名											
活動指標の貿	章式										
活動指標の調	活動指標の実績 単位 位										
単位当たりコス	スト(円)										
事業の目標					備考	【重 <i>;</i> 3. i	算案のポイン 点事業】 市民安心安全 活基盤の整	プロジェクト			

事業区分新規	古坐	i <mark>鉄長谷寺7号</mark>	踏切事前調査:	業務					
所管課	都市計	画課 (建設部)			_	一般会計 [:]	予算		
	近畿日本鉄道	道により、南北に分断され	ている市街地を結ぶアク	区分	No.	Σ	☑分名		
	セス道路を検討	討するため、長谷寺7号路 、交通安全対策としての代	切(下井足)の調査を行	款	7	土木費			
事業の目的		利便性の向上を図る。		項	4	都市計	·画費		
于 术 少 口由				目	1	都市計	·画総務費		
				細目	1	本庁都	市計画総務費		
根拠条例等									
総合計画	第3章 第	2節 (2)生活道路の 2節 (2)	整備						
		総合交付金事業 度 事前調査業務委託	5, 000千円	財源	。 「	<mark>内訳 (</mark> i	単位:千円)		
	•現地測量		0, 000 [1]	分担:	金				
H24年度 事業の概要				使用	料				
于不切机区				国	費		2,500		
				県3	費				
	・近鉄榛原駅は 滞の緩和が図	と口広場へのアクセス強イ られる	とと、南口広場の交通渋	市(責				
	•長谷寺7号踏	切の渋滞緩和・交通安全; 性化、定住促進・定住環境(その	他				
	- 川田地の77日日	E 化、足压促进 足压垛块(グ 走 哺 が 囚 りれ る。	一般則	才源		2,500		
事業の成果				H24予算		Α	5,000		
				H23 当初予算	算額	В			
				H23 現計予算	算額				
				増減	額	A-B	5,000		
事業の	コスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)			<mark>定財源σ</mark>			
決算額又は決算				社会	資本	整備総合交	付金 2,500千円		
従事職員数【									
	C×8,000千円)								
総事業費∶人件	‡費含む(千円)								
活動指標名									
活動指標の領	算式								
活動指標の調	実績	<mark>単</mark> 位	単 社						
単位当たりコ	スト(円)								
事業の目標				備考	【重点 3. ī	算案のポイン 点事業】 市民安心安全 活基盤の整	±プロジェクト		

事業 新規 当規	^{事業} 地域活性化推進拠点施設整備事業補助金									
所管課	公園	一般会計予算								
事業の目的	ワールドメイプルパーク整備工事の完了に伴い、旧宇太小学校 跡地は世界のカエデ公園となり、単なる憩いの広場としての公園 ではなく、テーマを持った地域独特の生産の場・交流の場・就業 の場として地域の活性化に向けた取り組みのできる公園として進 めてきている。 そこで、当該公園の持つ特異な性質から、地域住民が中心と なった活性化団体へ、公園整備では補完しきれない校舎の再利 用を促し、更なる公園機能の充実を図るため、活性化目的に即し た校舎の改修等を施し、その活動拠点を構築する目的で必要な 経費を補助するものである。					7 4 2	土木費都市計公園費公園費	十画費 計画費		
根拠条例等	都市公園	去に基づき	宇陀市公園							
総合計画	第1章第5	節 公園・網	禄地の整備	Ī						
H24年度 事業の概要	耐震等 内外装 その他	金内訳(単 手工事費 き工事費 2の経費	单位:千円 17,00 11,00 2,00 30,00	0	分担 使用 国	金	<mark>为訳 (-</mark>	単位:千円) 30,000		
事業の成果	その校舎の再 溶け込み、活情な地域特産品 品など、訪れる 学術、研究用 交流の促進を	かねてから地域住民の思い入れのある校舎の解体は行わず、その校舎の再利用により、当該公園をより一層の愛着で地域に溶け込み、活性化団体の育成をはじめ、カエデを中心とした新たな地域特産品の醸造から、従来からの商工業製品或いは農林産品など、訪れる方々への商品として提供し、類を見ないカエデの学術、研究用施設としても利用し、更には体験や参加をとおして交流の促進を図りつつ、周辺観光地との連携も含め、昼間の流入人口増大が見込め、地域全体への経済効果までもが期待できる.						30,000		
事業の	コスト	平成22年	度(実績)	平成23年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算	草見込額 (千円)				市町村	合併	·推進体制图	整備費補助金		
び事職員数 一	【人工】							30,000千円		
	エ×8,000千円)									
	件費含む(千円)									
<mark>活動指標名</mark>										
活動指標の	算式		l w l							
活動指標の			<mark>単</mark> 位	単 位						
単位当たり二	iスト (円)									
事業の 目 標					備考	【重点 5. き	算案のポイン 点事業】 共に考え行動 ジェクト 市民との協	かする「協働」プロ		

事業 継続	・ 事業 仮称 ワールドメイプルパーク整備工事									
所管課	公園	課	(建設部)	一般会計予算						
事業の目的	所を利用し、 野を「カエデの デや地元産品 の子ども達がた	が贈を受けたt まち」としての の販売、、産業 カエデの観察	より廃校となった旧宇太小学校及び旧宇太保育 を受けた世界のカエデの有効活用により、菟田 ち」としての地域活性に導く取り組みとして、カエ 販売、、産業と観光を複合させ、地域住民と都市 デの観察・育苗などの体験学習をとおして交流 流入人口の増加を図る。			No. 7 4 2 2	区分名 土木費 都市計画費 公園費 ワールドメイプル パーク整備事業費			
根拠条例等	宇陀市古河	市場地区活	性化計画							
総合計画	第1章第5	節 公園・総	地の整備							
H24年度 事業の概要	イ^ 植ま エ 事 費 エ事雑覧	002千円(最 ベント広場兼 戦エ・サービス き= 52,950 貴= 1,652千 本費=5,400千	注車場整備工・ く施設一式 - 円 - 円	校舎解体(1棟)・	分担 使用 国	金	<mark>为訳 (単位:千円)</mark> 27,300			
事業の成果	事業期間 平原事業規模 A=整備内容 景額 休息	総事業費 220,000千円(農山漁村活性化プロジェクト支援 交付金・都市農山漁村総合交流促進施設) 事業期間 平成20年度~24年度の5ヵ年計画事業 事業規模 A=16,000㎡ 内、カエデ展示圃場A=8,000㎡ 整備内容 景観を配慮した公園的整備(展示圃場整備・遊歩道・ 休憩所・カエデの植栽・灌水設備)・観賞用、育苗用 ハウス建築・イベント広場兼駐車場整備等 20年度 60,000千円(21年度へ全額明許繰越) 0% 21年度 0					31,000 1,702 A 60,002 B 60,002 A—B			
事業の	コスト	平成22年	F度(実績)	平成23年度(見込)	特定財源の状況					
従事職員数 人件費(人:	算見込額 (千円) 【人工】 エ×8,000千円) 性費含む (千円)		0.50 4,000 4,000	100,000 1.40 11,200 111,200	•合併:	舌性化プロジェクト支援 27,300千円 責 千円				
<mark>————————————————————————————————————</mark>			進捗率	壑(%)						
活動指標の	算式	実施事業費/総事業費								
活動指標の	実績		単 位	46 <mark>単</mark> %	<u>1</u> %					
単位当たり二	スト (円)			2,443,956						
事業の目標	り」が、22年11 の具体的計画	月7日に設立 を検討中 より、事業計画	:。現在はNPC	人「宇陀カエデの郷づく ひとしての活動及び運営 流人口及び地域活性化	備考	【重, 4. 〕 [観	算案のポイント> 点事業】 産業振興観光振興プロジェクト 見光振興 宇陀市の歴史的文化 り資産の活用] 観光施設、観光資源の整備			

事業 区分 継続	事業 商店街街路灯更新事業								
所管課	都市計	一般会計予算							
	のにぎわいを再	9生する。		の高いものにし、商店街	区分款	No.	土木費	<mark>☑分名</mark>	
	·LED電球にす	-ることにより	、節電対策を	行う。	項	4	本小員 都市計		
事業の目的					目	3		ロタ い推進事業費	
					細目	2		区まちづくり	
根拠条例等									
総合計画	第3章 第	1節(2)定 [·]	住環境の整	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	•事業費 4, 0				財源	。 「の「	内訳 (草	単位:千円)	
	·街路灯撤去 ·街路灯設置				分担	金			
H24年度 事業の概要					使用	料			
争未の似安					国	費		1,600	
					県	費			
		へ 場となる市街地や地域の生活拠点となる商店街の				債		2,200	
	活性化を図るため、また、良好な生活環境の整備・誘導が図られる。					他			
								200	
事業の成果							Α	4,000	
						3 算額	В		
					H23 現計予				
							A-B	4,000	
事業の	コスト	平成22年	度(実績)	平成23年度(見込)					
決算額又は決算			7,945					付金 600千円	
従事職員数【	人工】	0.50			·合併特例債 2,200千円				
人件費(人工	×8,000千円)	4,000							
総事業費:人件	‡費含む(千円)	11,945							
活動指標名		設置基数							
活動指標の質	章式	_							
活動指標の調	実績	6.0	<mark>単</mark> 位	単位					
単位当たりコス	スト(円)		1,990,833						
事業の 目 標	・周囲を広範囲	<u>——</u> に明る〈安全	を確保し、景	観の向上を図る。	備考	【重, 4. j [農	林業・商工業	光振興プロジェクト	

平成 24 年度当初予算(案) 事業別シート

事業 区分 継続	事業 名 都市計画道路 東町西峠線道路整備事業									
所管課	都市計	画課 (建設部	ß)			-	一般会計	予算		
		月6日に都市計画決定を行い、国道165号線萩原			区分	No.	Σ	☑分名		
	て、広域的な交	交差点から市道玉立2号線(延長1310mの内360m)について、広域的な交通処理機能や市街地の空間形成等に配慮して、都市の骨格となる道路整備を行う。					土木費			
事業の目的	都市の骨格とな						都市計	·画費		
							まちづく	り推進事業費		
			細目	2	榛原地 進事業	区まちづくり推 費				
根拠条例等	都市計画法	.								
総合計画	基本計画	第3章第2節(2)	生活道路の整備	道路	の安全	性•	利便性の	向上		
		兵(舗装含む) L=360 7 2箇所 30,000千			財源	。 「	内訳 (草	単位:千円)		
	•用地費 70,	000千円	П		分担	金				
H24年度 事業の概要	·測量·試験·登	252, 500千円 記委託料 5, 000千	円		使用	料				
争未の概安) 20, 000千円 費) 4, 000千円			国	費		215,200		
	近鉄榛原駅北	ヒロ広場へのアクセス強化と駅南広場の交通渋滞				責		333,700		
	の緩和を図ると共に、道路整備とあわせて、沿道スペースにポケットパークを設置し、歩行空間の整備を行い、交流の場としての活用を図る。					他				
						才源		13,100		
事業の成果								562,000		
			H23 当初予		В	478,630				
			H23 現計予算			478,630				
					増減	額	A-B	83,370		
事業の	コスト	平成22年度(実績	平成23年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算	見込額(千円)	345,670	489,0	010	社会資本整備総合交付金(旧 り交付金) 215,200千円					
従事職員数【	人工】	2.00 2.00			- 合併特例債 333,700千円					
人件費(人工	×8,000千円)	16,000	16,0	000						
総事業費:人件	‡費含む(千円)	361,670	505,0	010						
活動指標名		進捗率(%)								
活動指標の算	章式 [1]	事業費/全体事業費								
活動指標の調	E 績	25.7 単 % 36.4 単 %								
単位当たりコン	スト(円)	14,072,76	3 13,873	,901						
事業の 目 標		・ 中心とした整備改善をは 生、利便性の向上、災害			備考	【重点 3. i [生 (1)	活基盤の整	≧プロジェクト		

事業 区分 新規 事業 都市計画道路 墨坂通り線道路改良 (榛原駅前南交差点付近)及び測量業務委託										
所管課	都市計	画課	一般会計予算							
	・市街地の骨格	Aとなる都市i	となる都市計画道路の整備を進めるとともに、宇		区分	No.	Σ	☑分名		
	陀市立病院へのアクセス道路として、また交差点改修を行うこと により、安全で快適な環境づくりを図る。					7	土木費			
事業の目的			項	4	都市計	·画費				
4.0K 0.0 H 1.3			目	4	都市計	·画道路費				
				細目	1	本庁都	市計画道路費			
根拠条例等										
総合計画	第3章 第	2節 (1)韓	幹線道路の	整備						
	平成24年度予·測量業務委		00, 000円 400㎡		財源	<mark>東の</mark> 「	<mark>为訳 (</mark>)	単位∶千円)		
	5, 000, (.00111	分担	金						
H24年度 事業の概要		· 現地測量 • 用地測量(一部)								
于人艺术			国	費		2,500				
		・市街地において、道路・都市公園等の都市基盤を整備し、合わせて旧榛原町庁舎跡を測量を行い、土地利用についての検討資						2,300		
	料とする。・今後、宇陀市立病院へのアクセス道路となる。					他				
	•亏饭、于叱巾	- 7 後、子尼川立内的: 、のナノとへ追屈となる。						200		
事業の成果							А	5,000		
			H20 現計予							
					増減	額	A-B	5,000		
事業の		平成22年	F度(実績)	平成23年度(見込)						
決算額又は決算	見込額 (千円)				社会資本整備総合交付金 2,500千円					
<mark>従事職員数【</mark>	人工】				合併	特例	債 2,300千	円		
人件費(人工	×8,000千円)									
総事業費:人件	‡費含む(千円)									
活動指標名										
活動指標の質	章式 二									
活動指標の調	実績		<mark>単</mark> 位	単位						
単位当たりコン	単位当たりコスト(円)									
事業の目標					備考	【重点 3. i [生	算案のポイン 点事業】 市民安心安全 活基盤の整)効果的な道 実施	≧プロジェクト		